

東芝照明システム(株) サイトレポート情報

所在地 : 栃木県鹿沼市深程990番地10

敷地面積 : 10,439m²、建家面積 : 4,232m²、緑化率 : 30.7%

設立 : 1953年9月、従業員 : 141人 (2010年3月現在)

主要製品 : 舞台・スタジオ大型照明調光装置、空港照明制御システム装置
MESL (メッスル)、照明制御システム装置、表示・映像装置

ISO14001認証取得 : 2000年9月、最新更新年月 : 2009年9月
(ISO認証番号 : YKA0772801)



ごあいさつ

当社は環境負荷の大幅な削減を実現するとともに、11年3月の震災の影響による電力削減のため更なる環境負荷軽減を推進します。
製造工場として、LED演出空間照明器具およびLED航空標識灯の開発および商品化を進め、市場への環境調和型製品の提供を加速していきます。



環境保全責任者 浜口光洋

2010年度の環境の主な取り組み

☆ISO14001環境マネジメントシステム

2010年7月に第2回サーベイランス審査、2011年1月に第3回サーベイランス審査をそれぞれ終了しました。

☆環境保全体制の充実

法令・条例の遵守、現場管理の徹底と強化。

☆廃棄物の削減

廃棄物のゼロエミッションの維持 (目標 0.5%以下 実績 0.15%)
2002年度比38%削減 (総排出量) (目標 70.8ton 実績 53.3t : 53%削減)

☆CO2排出量の削減

電力使用量及び社有車ガソリン、灯油に関わるCO2排出量を2004年度基準で26%削減
(CO2排出量) (目標 322.8t-CO2 実績235.7t-CO2 : 45.9%削減)
工場立入または業者運搬車両に関わるCO2排出量を2003年度基準で30%削減
(CO2排出量) (目標 15.7t-CO2 実績15.1t-CO2 : 32%削減)

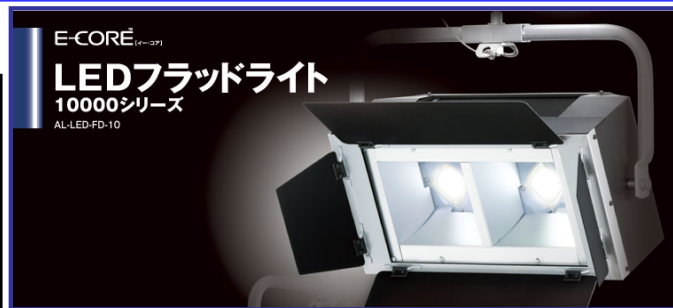
☆グリーン調達

グリーン調達額を全購入額の30%以上 実績59.4%

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

☆照明器具等の光源のLED化

- ・LEDスポットライト
- ・LEDハンディライト
- ・LEDフラットライト
- ・LED航空標識灯



環境コミュニケーションの紹介

- ・工業団地内クリーンキャンペーン活動参画 (10月)
- ・自治体等主催行事 (講習会) 参画
 - ①環境保全講習会
 - ②産業廃棄物の排出抑制等および適正処理等に関する講習会
 - ③廃棄物処理法改正に関する講習会

環 境 方 針

東芝照明システム株式会社は、

「“かけがえのない地球環境”を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、東芝ライテックグループおよび当社の経営理念に基づき、技術的、経済的に可能な範囲で次により推進します。

1. 環境への取り組みを会社経営の最重要課題の一つとして位置付け、ISO14001に適合した環境マネジメントシステムを確立し、実施し維持します。
2. 事業活動、製品に関わる環境側面について環境影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の予防等に関する環境目的および環境目標を設定して、環境活動を推進します。
3. 監査の実施や活動のレビューにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
4. 環境に関する法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準などを遵守します。
5. 東芝グループ一体となった環境活動を推進し、東芝照明システム(株)で働く全ての人の環境意識をより高めて全員で取り組みます。
6. 地球資源の有限性を認識し、製品、事業プロセスの両面から有効な利用、活用を推進します。
7. 地球温暖化の防止、資源の有効活用、化学物質の管理など、設計、製造、流通、廃棄など全ての事業プロセスで環境負荷低減に取り組みます。
8. 環境調和型製品の製造において、LEDスポットライトなどの演出空間照明器具およびLED航空標識灯の製造など光源をLED化した製品の製造を推進します。
9. 取引先に対し環境保全の要請を行うとともに、地域社会における環境活動に積極的に参画することにより取引先や地域社会との協調連帯を図ります。
10. この環境方針は、東芝照明システム(株)で働く全ての人に周知すると共に、一般の人が入手可能とします。

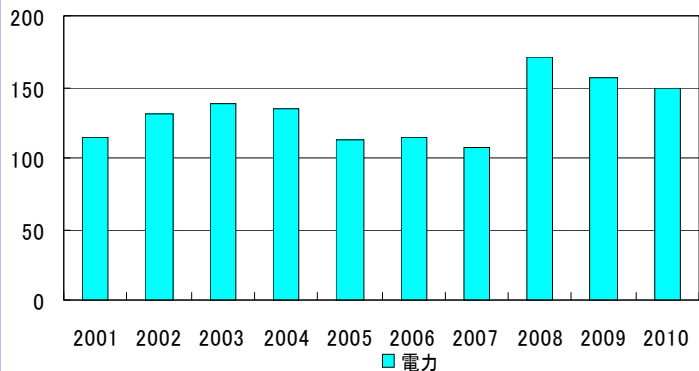
2010年 4月 1日

東芝照明システム株式会社

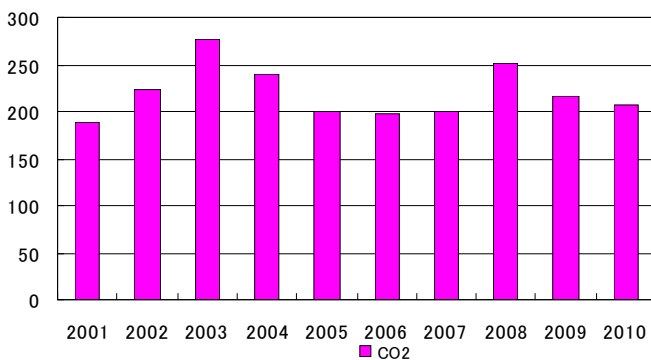
取締役社長 土倉 誠樹

環境負荷データ(2008年10月以降は山梨工場統合後のデータです。)

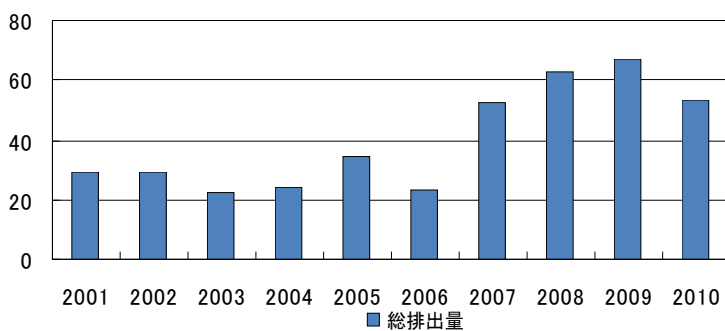
エネルギー使用量(単位:KL)



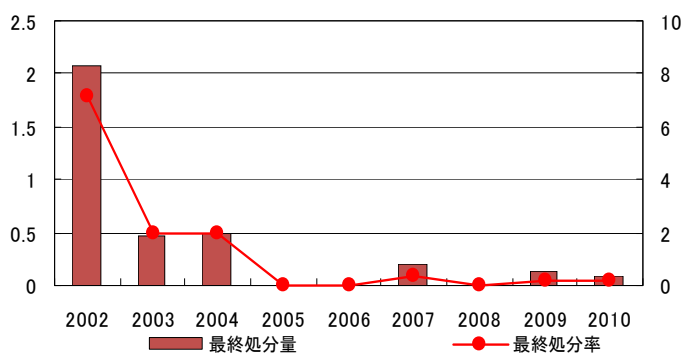
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)



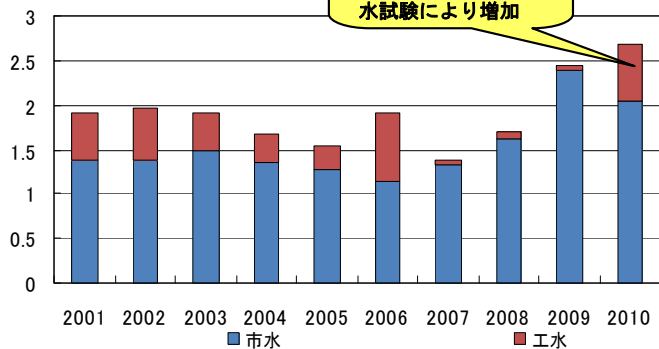
廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)



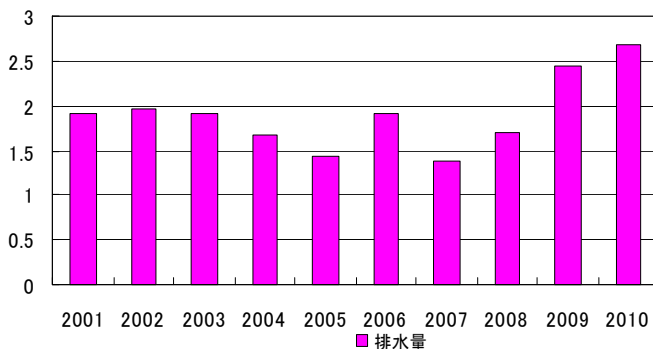
主な廃物名:紙くず、プラスチック、金属等

水の使用量(単位:千m³)

可変表示型誘導路案内板(VMS)の水試験により増加



排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)

化学物質削減対象物質の排出量(トン)

化学物質の使用実績はありません。

遵法管理状況

<排水測定結果> 河川(思川)へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6(協定値)	6.0~8.4	6.7	月1回
BOD(mg/ℓ)	20以下(協定値)	18以下	9.0	月1回
COD(mg/ℓ)	—	19以下(参考値)	16.8	月1回
SS(mg/ℓ)	—	38以下(参考値)	2	月1回
窒素(mg/ℓ)				なし
フッ素(mg/ℓ)				なし

<騒音・振動測定結果> 特定施設 騒音:11施設(機械プレス)、振動:11施設(機械プレス)

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	75以下	75以下	36.9	新設(移設)時
	敷地境界:夜	60以下	—	—	なし
振動(dB)	敷地境界:昼	65以下	65以下	62.6	新設(移設)時
	敷地境界:夜	60以下	—	—	なし

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし